



はなみずき

mail:wjls@wjls.org http://www.wjls.org/

凡事徹底が校内のあちこちに

校長 東間 義孝



「凡事徹底 (ぼんじてっい)」

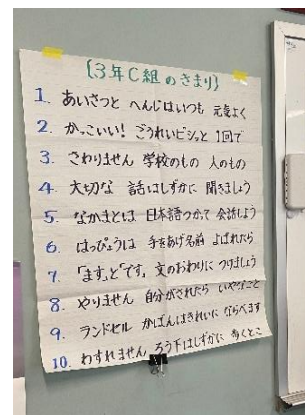
特別なことではなく、毎日や毎回の当たり前の小さなことを、心を込めてやり続けることが大切だという先人の教えです。一見地味に思えることも、積み重ねていくと、やがて大きな力になります。

先週、高等部の教室を覗いてみると、理解度テストに真剣に取り組む姿がありました。数学では、毎回授業の始めに、前回授業の理解度を確認するミニテストを行い、確かな学力の定着を図っています。それに備える生徒たちは、週5日の現地校での学びに加え、家庭で工夫しながら土曜日の復習のリズムを築いてきたのでしょう。中には、10年以上WJLSに通い続けている生徒もあり、その積み重ねの力を感じます。全校からも憧れのまなざしを向けられる高等部の生徒たちです。

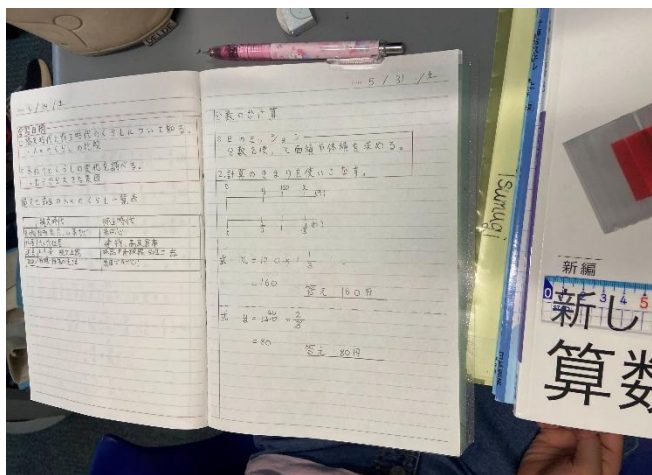
小学部1年生の算数では、教科書に書き込みながら学んでいます。この教科書には、「みんなで」「あわせて」「ぜんぶで」など、式を考えるポイントとなる言葉に波線が引かれており、ひと文字ずつしっかりと丁寧にひらがなや数字を書いていた。入学からまだ2か月ですが、学校やご家庭での学びを一步ずつ積み重ねている様子がうかがえます。



また、ホワイトボードの横にいつもクラスのきまりを掲示している学級もあります。



『「ます」と「です」文の終わりにつけましょう』など、常に意識し合ったり、できたときにはその子の、またクラスとしてのよさや伸びを確かめ合ったりしています。



ノートの使い方が特に目を引いた学級もありました。「数直線」や「本時のめあて」を囲む線が、どの子もまっすぐに引かれていたのです。定規を使って線を引く習慣を日々積み重ねている証しです。丁寧に「書く」ことを通して思考力を育てる姿勢を大切にしていることが伝わってきました。

また、ある子は、勉強中に出た消しゴムのかすが床に散らからないようにと、わざわざ机の下にゴミ箱を持ってきて、そっとそっと捨てていました。こうした小さな心配りにも「凡事徹底」の精神が感じられます。



校内には、「凡事徹底」の姿勢が、あちらこちらに見られます。集えるのは週に一度の土曜日だけですが、日々や毎回の積み重ねを通して、子どもたちはたくましく、そして心豊かに過ごしています。

安全・安心に向けた取組④

～避難訓練（火災）～

火災を想定した先週の避難訓練は、突然の雨により、避難経路を確認する訓練へと内容を変更して実施しました。どの学年の子どもたちも、「お・は・し」の約束（*おさない *はしらない *しゃべらない）をしっかりと守り、落ち着いて取り組んでいました。



今年度予定していた4回の避難訓練は、これで全て終了となりました。最後の訓練後には、子どもたちに講評を伝える予定でしたが、当日はそれが叶わず、代わりに各担任の先生を通じて、安全に対する意識を再確認してもらいました。

「自分の命は自分で守る」ということを、一人一人がしっかりと心に刻んで、学校生活を送ってほしいと願っています。

全校青空ピクニックに向けて

6月14日(土)の全校青空ピクニックに向けて、生徒会の皆さんが全体企画を担当し、ペア学級の上学年は下学年とどんな遊びをしたいかと準備してくれています。

在校生みんなが、遊んだり、外でお弁当を食べたりするのをとても楽しみにしています。

お日さま、よろしくお願いします。

